

中学サイエンス部「応用物理学会 物理学実験研修」に参加しました

10月3日(土)に福井大学で開催された応用物理学会主催の「物理学実験研修」に、中学サイエンス部員17名が参加しました。この研修会は、高志高校SSHの研究活動でもお世話になっている福井大学教育学部教授の栗原一嘉先生に企画していただきました。

「身の回りの不思議を発見しよう」をテーマに、様々な物体の落下運動を調べる実験、移動するエレベーター内で物体の重さの変化を調べる実験、大気圧を使ってボウリングの球を空中浮揚させる実験、液体酸素を作る実験等に取り組みました。生徒達は様々な実験を楽しみ、身の回りの不思議な現象について物理学の視点で考察しました。

参加した部員からは、「本やテレビでしか見たことがなかった現象やこれまで知らなかった不思議な現象について、実際に体験することで深く考えることができました。」「大学の実験装置を使ってダイナミックな物理実験を行うことができ、とても楽しく学ぶことができました。」などの言葉が聞かれました。今後の活動につながる貴重な経験となりました。



福井大学教授 栗原一嘉先生による落下実験



エレベーター内で物体の重さの変化を調べる様子



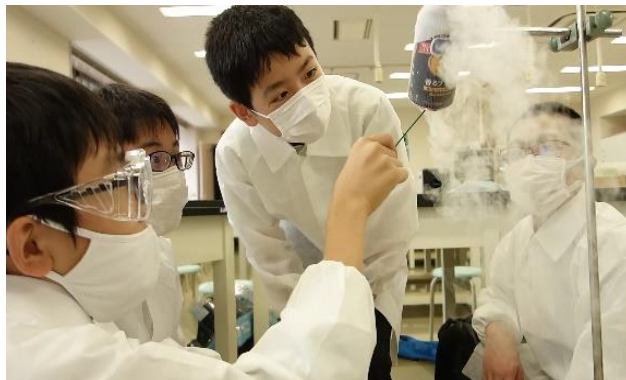
ジャイアントバルーンで空気の質量を実感



大気圧でボウリングの球を空中浮揚



臭素の状態変化を観察する様子



液体酸素を作る実験